

基礎係数・機能評価係数Ⅱの次回改定に向けた 評価手法等に係る論点(案)

1. 背景

- 調整係数の今後の段階的置換えについては、現場への影響に十分配慮しながら、計画的かつ着実に進める必要がある、との観点から、医療機関群の要件を含めた基礎係数や機能評価係数Ⅱ等の安定的な制度運用と、一定の予見性の確保が不可欠とされている。

- このような視点から、基礎係数と機能評価係数Ⅱの評価手法等について、改定後の実績を踏まえた必要な見直しを、次回改定での具体的対応のとりまとめにおいて検討するという前提で、これらに係る基本方針(一定の方向性)については、実績データ収集の開始前である平成24年9月末までに一定の内容をとりまとめるはどうか、との提案が今後、中医協において検討される予定となっている。

2. 基礎係数・機能評価係数Ⅱの評価手法等に関する論点(案)

基礎係数と機能評価係数Ⅱの評価手法等に関する今後の検討に際し、以下に掲げる事項に関連する論点について、それぞれの視点から、どのように考えるか。

<視点1> 次回改定で評価(判定)の対象となる診療実績の収集開始前(平成24年9月末)に整理すべき事項について、どのように考えるか。

<視点2> 次回改定における基礎係数と機能評価係数Ⅱの見直し等の対応案について、平成25年秋頃を目途に整理すべき事項についてどのように考えるか。

(1) 基礎係数(医療機関群別の設定)

- ① 医療機関群のあり方(Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群)
- ② 医療機関群の要件設定のあり方(Ⅱ群要件のあり方)

(2) 機能評価係数Ⅱ

- ① 現行6項目の評価項目のあり方
- ② 各評価項目に関する評価手法のあり方
- ③ 医療機関群別設定のあり方(複雑性、カバー率、地域医療)